

令和5年度

# 高階西小学校だより



祝 50周年

学校教育目標 ~力を高め・みんななかよく・さあ、やるぞ~

令和5年10月3日 10月号

## 読書の秋、心を豊かに

校長 齊藤 浩正

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、秋分を過ぎてから、朝晩の風に秋らしさを感じられるようになりました。まだまだ、昼間は暑い日々が続いていますが、校庭のソメイヨシノの葉が次々に落ち始め秋の訪れを感じます。これからは、スポーツの秋、読書の秋と、何に取り組むにも、よい季節になります。

さて、読書の秋にちなんで、10月の生活目標は「本をたくさん読もう」としました。たくさんの本に出会い、子供たちの心が豊かになるような、読書の秋にしたいと思います。

高階西小では年8回、業前の時間に学校応援団の皆様「読み聞かせ」をしていただいています。子供たちは、この時間が大好きで1年生から6年生まで、すべての子が真剣に食い入るように本の世界に入り込んでいます。読み聞かせボランティアの皆様には、季節や行事に合わせて、また手遊び歌を交えたり、英語で語っていただいたりと、子供たちの興味や関心を高める様々な工夫をされながら、読書好きの子供たちを育てていただいています。

今年度は、コロナが5類に変更されたことに伴い、学校図書館を利用できる時間が増えました。その影響もあり「読書マラソンカード」への取り組みをがんばっている子が増えています。20冊読み終え、認定証を手にした子も続々と増えています。パソコンやスマートフォン全盛の今日ですが、ご家族でも読書の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### ふるさと学習に取り組んでいます

川越市では、市立の全学校で「ふるさと学習」を推進しています。コロナが5類に引き下げられた今年度から、高階西小でも地域の皆さんにご協力いただき、地域の宝を教材として活用する取組を少しずつ進めています。

低学年は、ふれあいの森を生活科の学習フィールドとして、森の生き物について学習しています。また、中学年は、高階の昔話やふれあいの森等、高階地区について探求的に調べる学習を行っています。高学年は、地域在住のプロフェッショナルな方々から様々な仕事について学びました。

授業に当たっては、ふれあいの森については川越緑のサポーターの皆様、高階の昔話については影絵劇団「虹」の皆様、仕事のお話については、学校応援団や保護者の皆様等、たくさんの方々にご協力いただいております。子供たちは、本物にふれることで、楽しく学んでいます。また、教員からの話ではなく、実際に携わっている方からお話を伺うことができ、とても貴重な経験をさせていただいております。ありがとうございます。

ふるさと学習を通して、日々暮らしている地元高階について、より豊かな見方で生活できるようになってほしいと思います。そして高階や川越市への愛着と誇りをもち、将来、自分のふるさとに貢献しようとする気持ちが子どもたちの心の中に育って欲しいと願っています。